

2023年度 独創的研究助成費 実績報告書

2024年3月29日

報告者	学科名	看護学科	職名	准教授	氏名	佐藤美恵
研究課題	看護学生の主体的学習とオンライン教材活用との関連					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	佐藤美恵	看護学科・准教授	基礎看護学	総括・データ収集・分析	
	分担者	高林範子	看護学科・助教	基礎看護学	データ収集・分析	
		佐々木新介	看護学科・准教授	基礎看護学	データ収集	
		犬飼智子	看護学科・助教	成人看護学	データ収集	
		實金栄	看護学科・教授	老年看護学	データ収集	
		名越恵美	看護学科・准教授	成人看護学	データ収集	
網野裕子	看護学科・助教	小児看護学	データ収集			
研究実績の概要	<p>【背景】 看護基礎教育は、社会状況や疾病構造の変化に合わせて教育内容や方法の見直しが行われている。2019年に提示された看護基礎教育検討会報告書¹⁾では、教育体制・教育環境等の見直しのポイントとして、「学生が主体的に学ぶことができる教育方法の推進」、「情報通信技術の進展等の変化に伴い、遠隔授業等の実施が可能であることの明示」等が示された。</p> <p>学生の主体的学習について、田村²⁾は看護学生の主体的学習を促進する動機づけとして、「手順と根拠を考える」、「手本を見て学ぶ」、「臨床をイメージする」、「患者への配慮を考える」などの概念を挙げている。Kubo³⁾は看護系学生における主体的学習行動の内容として、「教材を活用することで知識を整理し、スキルを高める」、「重要な学習のための時間を確保する」、「サポート能力を獲得できるよう練習する」などを挙げている。また、駒井⁴⁾は学生が主体的に学習を進められる学習支援システムの構築を目的として動画教材を作成したこと、86.3%の学生が視聴していたことを報告し、学習支援システムの有用性はアクセスしやすい環境等の利便性に影響されると述べている。これらの先行研究より、学生の主体的学習を支援する教育方法の一つとして、アクセスしやすいオンライン教材が有用であると考えた。</p> <p>本学の看護学科では、2021年度から看護技術教育用オンライン教材を導入し、学生が時間や場所の制限なく動画等を視聴できる学習環境を整え、学習効果を検証している。この教材に対する学生の評価は、理解度、満足度ともに高かった。また、「いつでもアクセスできてとても便利」、「動画を視聴することで理解しやすくなった」などの意見があった。2022年度は、学生のアクセス数も大幅に増加し、学生がこの教材を利用して主体的に学習していることが推察された。しかし、学生がこの教材を使用してどのような学習をしているのかという学習内容や、教材利用状況と学生の主体的学習との関連については明らかにされていない。</p> <p>【目的】 本研究では、学生の主体的学習と看護技術教育用オンライン教材活用状況との関連を明らかにすることを目的とする。</p>					

※ 次ページに続く

<p>研究実績 の概要</p>	<p>【方法】 対象は看護学科1～4年生の164名である。学生の主体的学習について、畑野・溝上⁵⁾による主体的な学習態度尺度を用いて質問紙調査を行った。オンライン教材の活用状況は、教材の管理者ツールからデータを収集した。分析は、主体的な学習態度尺度の得点と教材中のコンテンツへのアクセス数との関連の有無を検討した。本研究は、岡山県立大学倫理委員会の承認を得て実施した（受付番号23-07）。</p> <p>【結果および考察】 質問紙の回収数は54部、回収率は32.9%であった。主体的な学習態度尺度の得点と教材中のコンテンツへのアクセス数には、負の相関が認められた（$r=-0.394, p=0.003$）。</p> <p>学生の主体的学習を支援するために有効な教材活用方法について、さらに検討が必要である。</p> <p>1) 厚生労働省. 看護基礎教育検討会報告書の概要. https://www.mhlw.go.jp/content/10805000/000557242.pdf.</p> <p>2) 田村美子他. 看護大学生の看護技術修得に対する主体的学習行動を促進する動機づけ. 看護・保健科学研究誌, 21 (1), 41-51, 2021.</p> <p>3) Kubo Yoshiko et, al. Clarification of Self-Motivated Learning Behaviors among Undergraduate Nursing Students in Japan. Jikeikai Medical Journal, 66 (1-4), 17-29, 2019.</p> <p>4) 駒井裕子. e-learningによる主体的学習の支援環境の構築とその有用性の検討 対象学生によるアンケート調査結果の分析から. 常葉大学健康科学部研究報告集, 4 (1), 85-93, 2017.</p> <p>5) 畑野快・溝上慎一. 大学生の主体的な授業態度と学習時間に基づく学生タイプの検討. 日本教育工学会論文誌, 37, 13-22, 2013.</p>
<p>成果資料目録</p>	